

・護持会より

昨年11月3日に行われた護持会総会において承認をいただき、「位牌堂管理規約」が施行されました。今回お配りしておりますのでご確認ください。

・位牌場について

白木のお位牌は四十九日間の仮位牌です。いつまでも置いておくものではありませんので、本位牌をお求めください。白木のお位牌はこちらで預かりお焚き上げさせていただきます。また名札の名義変更(有料)も承りますので、お気軽にご相談ください。

最近、造花の劣化が見受けられます。時期を見て交換をお願いいたします。

また位牌場にお供えされているお賽銭についてですが、金銭を人目につく状態で放置しておくのは防犯上の観点からも、ご遠慮頂きたいと思います。定期的にお持ち帰りいただきたく存じます。

・合葬墓のご案内

能持院では昨今の様々な供養の形にお応えするため、合葬墓「みちびき観音」を設置しております。納骨料は一靈あたり10万円です。申し込みは随時受け付けております。利用規約はお問い合わせください。

【編集後記】

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。「お寺できもだめし」も6回目となり、皆さんのご協力のおかげで無事に終えることができました。来場者は過去最多となった昨年には届かなかったものの、出店者は過去最多となり盛り上がりを見せました。今回も売り上げの一部を「秋田いのちの電話」に寄付させていただきました。来場者の皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

おかげ様で娘も昨年3歳となり、七五三のお祝いをしました。お詣りに合わせて羽後町の「coconuts」さんに撮影していただき、あぐりこ神社で無事成長を祈念していただきました。ちょうどイチョウの葉が色づく季節で、黄色い絨毯の上での撮影となりました。このような行事を羽後町内のお店とロケーションで行えたことは大切な思い出になりました。(副住職)

・公式LINEご登録のお願い

能持院には公式LINEがございます。ご法事などの仏事のご予約やお問い合わせにご活用いただけます。また坐禅会や寺ヨガ、写経会などの行事のお知らせも行っております。こちらのQRコードからご登録いただけます。ご登録をお願いいたします。



・最新情報

最新情報は下のQRコードからHPやSNSでご確認いただけます。葬儀や法事の際に役立つ情報や、坐禅会などの各行事の開催日や内容もご確認いただけます。ぜひご覧ください。



能持院だより



謹賀新年

本年も皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

写真は寺ヨガの参加者にお礼の意味を込めてお配りした特製の練り切りです。

能持院で飼っている猫をモデルに万寿堂さん(西馬音内)に作っていただきました。

お寺でのヨガクラスを始めて5年以上になります。参加者にはご好評をいただいております。

皆さんの家内安全と無病息災を祈念したのちにお配りしました。

ちょうど良い生き方を考える

昨年下半期の大きな話題の一つは、初の女性首相である高市首相の誕生ではないでしょうか。はっきりとした物の言い方や強い言葉を使った発言は、強いリーダー像と大きな決意を感じます。流行語大賞にもなった「働いて働いて働いて働いてまいります」という言葉にその姿勢が強く表れています。

しかし近年は、長時間労働からの脱却やテレワークやフレックスタイム制の導入などにみられる働き方の多様化に合わせる形で働き方改革が進められてきました。「ワークライフバランス」という言葉もよく耳にするようになりました。仕事と生活の両立、そして双方の充実を目指し社会も変わりつつあります。首相の言葉はある意味、時代に逆行しているようにも感じられます。

仏教には「中道」という教えがあります。中道とは中間をとることではありません。極端に偏らずそのどちらにも執着しない考え方です。お釈迦さまは、王子時代の快楽生活と出家後の厳しい苦行の両方を経験しました。しかしどちらも悟りにはつながらないと見抜き、「不苦不樂の中道」を選びました。

この考えをもとに、ワークライフバランスを考えてみましょう。仕事に偏りすぎると過労や心身の疲労、家庭内の不和につながります。しかし生活に偏りすぎると経済的不安定な状況に陥ったり、自己喪失感が生まれやすいと言われています。つまり仕事と生活どちらも大切にしながら偏らずに生きることが大切です。「50:50」を目指すのではなく、その人なりの状況や環境における「ちょうど良さ」を尊重することが「中道」的な考え方ではないでしょうか。

自分にとってのちょうど良さはどのように判断したら良いのでしょうか。そのためにはまず自分の今の暮らしを振り返り、偏りに気づくことから始めましょう。頭で考えるだけではなく、心と体にも目を向けてみましょう。体調や生活の変化が今の仕事と生活のバランスがどうかを教えてくれるきっかけになります。もしバランスが取れていないと感じたら、小さなことから変化を加えてみましょう。その変化に対する心と体の反応をしっかりと観察してみてください。私たちは常に変化しています。これを繰り返していくことが、皆さんが大切にしたい価値観を守ることにもつながっていきます。

高市首相の言葉はバランスを欠いた発言に取れるかもしれません。しかし一国のトップともなれば、それだけ仕事に偏る必要があるのかもしれません。それは当事者にならないと分かりえないことなのでしょう。

百回忌	七十回忌	五十回忌	三十三回忌	三十一回忌	二十七回忌	二十三回忌	二十一回忌	十七回忌	十三回忌	十一回忌	七回忌	三回忌	一周忌	令和八年 年回表
昭和二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和五十二年	平成六年	平成八年	平成十二年	平成十六年	平成十八年	平成二十二年	平成二十六年	令和二年	令和六年	令和七年	

羽後町制施行 70 周年記念 「怪談マルシェ」 開催しました



昨年の9月13日に羽後町制施行70周年記念「怪談マルシェ」を開催しました。マルシェでは癒しをテーマに県内外から9店にご出店いただき、本堂でヘッドスパやカラーセラピー診断、耳つぼジュエリーやマッサージ、ドライフラワーやアロマ、編み物の販売が行われました。またヨガやストレッチ、アロマのワークショップも行われ、お寺という非日常的な空間で思い思いに癒しをご体験いただけたのではないでしょうか。また外ではホットドックやパフェの販売もあり、胃袋も満たされたご様子でした。

夜の怪談では東北を中心に活躍されている鶴乃大助氏と小田切大輝氏をお招きし怪談をお届けしました。映像で見ることはあっても、生で怪談を聞く機会はあまりなかったのではないでしょうか。お二人の息の合った掛け合いから語られる怖いだけではなく不思議なお話にどんどん引き込まれていきました。お二人がお持ちの心霊写真もご披露いただき、お寺の空間も相まって背筋の凍る思いでした。

当日は悪天候にもかかわらずたくさんの方にご来場いただきました。ありがとうございました。